

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【公開番号】特開2009-463(P2009-463A)

【公開日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-001

【出願番号】特願2007-187107(P2007-187107)

【国際特許分類】

D 06 F 37/12 (2006.01)

D 06 F 39/08 (2006.01)

D 06 F 49/02 (2006.01)

【F I】

D 06 F 37/12 B

D 06 F 39/08 301Z

D 06 F 49/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月21日(2009.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ほぼ鉛直方向に延びる軸を回転軸として回転することが可能であって、水を含む纖維構造体を収容するための容器と、

前記容器の上方において前記容器の周壁に配置されて、水を保持するための水保持部と、

前記容器の回転により生じる遠心力によって前記容器内の水を前記水保持部に誘導するための水路とを備える、脱水装置。

【請求項2】

前記容器の回転速度が所定の回転速度よりも大きい場合に、前記容器の回転により生じる遠心力によって前記水保持部の内部に流入した水が前記水保持部の内部に保持され、かつ、前記水保持部の回転速度が所定の回転速度よりも小さい場合に、前記容器の回転により生じる遠心力によって前記水保持部の内部に流入した水が前記水保持部の内部に保持されないように前記水保持部は構成されている、請求項1に記載の脱水装置。

【請求項3】

前記水路は、多孔質状に形成されている水保持部材を有する、請求項1または請求項2に記載の脱水装置。

【請求項4】

前記水保持部は、前記水保持部の内部と外部とを連通して水を前記水保持部から排水するための水保持部排水孔と、前記水保持部排水孔に配置される弁体とを有し、

前記弁体は、前記容器の回転速度に応じて前記水保持部排水孔を開放または閉塞するように構成されている、請求項1から請求項3までのいずれか1項に記載の脱水装置。

【請求項5】

請求項1から請求項4までのいずれか1項に記載の脱水装置を備える、洗濯機。